

当院婦人科にて、過去に子宮頸部細胞診検査を受け

異型腺細胞（AGC-favor neoplastic）と判定された患者さまとご家族の方へ

臨床研究に関する情報

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号、令和6年4月1日一部改正）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会下さい。

【研究課題名】

当院における子宮頸部細胞診で異型腺細胞（AGC-favor neoplastic）と判定された症例の後方視的検討

【研究機関名・長の氏名】 国立病院機構 北海道医療センター・病院長 伊東 学

【研究代表者名・所属】 加々谷 悠希・北海道医療センター 臨床検査科

【研究の目的】

当院の子宮頸部細胞診において、AGCの中でも特にAGC-FNと判定され、より腫瘍性が示唆された症例について、形態学的所見と病理組織診断との関連について後方視的に細胞学的検討を行う。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2022年4月1日から2025年3月31日までの間に子宮頸部細胞診検査を受け、異型腺細胞（AGC-favor neoplastic）と判定された方。

●利用する検体・情報

検体：病理組織標本、細胞診標本

情報：診断名、年齢、性別、既往歴、家族歴、生活歴、治療歴、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、病理組織学的検査、細胞診検査）、後治療、予後、再発状況など

本研究で新たに試料を採取したり使用したりする予定はありません。

【研究実施期間】

実施許可日（情報の利用開始：2025 年 10 月下旬頃～2025 年 12 月 31 日）

この研究について、研究計画や関係する試料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

【当院の連絡先・相談窓口】

〒063-0005 札幌市西区山の手 5 条 7 丁目 1 番 1 号

国立病院機構 北海道医療センター 臨床検査科 病理検査室 加々谷悠希

電話：011-611-8111（代表）